

休憩を取らず 運転は、悪質

目がかゆいは、眠気のサイン
運転時の休憩は、2時間ごとに

2時間走行、15分休憩
守ろう！ 自分の命、他人の命

赤信号で交差点に進入
横断歩道の女児らはね、4人重軽傷
居眠り運転の男に
禁錮3年の実刑判決
眠気を覚えたものの
十分な休憩を取らずに運転を続けたのは悪質と指摘

2022/6/9(木) 14:52

岡山県で昨年11月、親子4人が乗用車にはねられ、女児ら2人が一時意識不明の重体となった事故で、過失運転致傷に問われた被告の男(65)に対し、岡山地裁は9日、禁錮3年の実刑判決を言い渡した。

起訴状では、被告は昨年11月4日午前、岡山県の国道で、居眠り運転をして赤信号の交差点に進入し、横断歩道上で4人をはねて重軽傷を負わせたとしている。

検察側は論告で、被告が眠気を覚えたものの、十分な休憩を取らずに運転を続けたのは悪質と指摘。弁護側は執行猶予付きの判決を求めている。